

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年6月26日（金）

2 確認箇所

3号機原子炉建屋南側（図1）

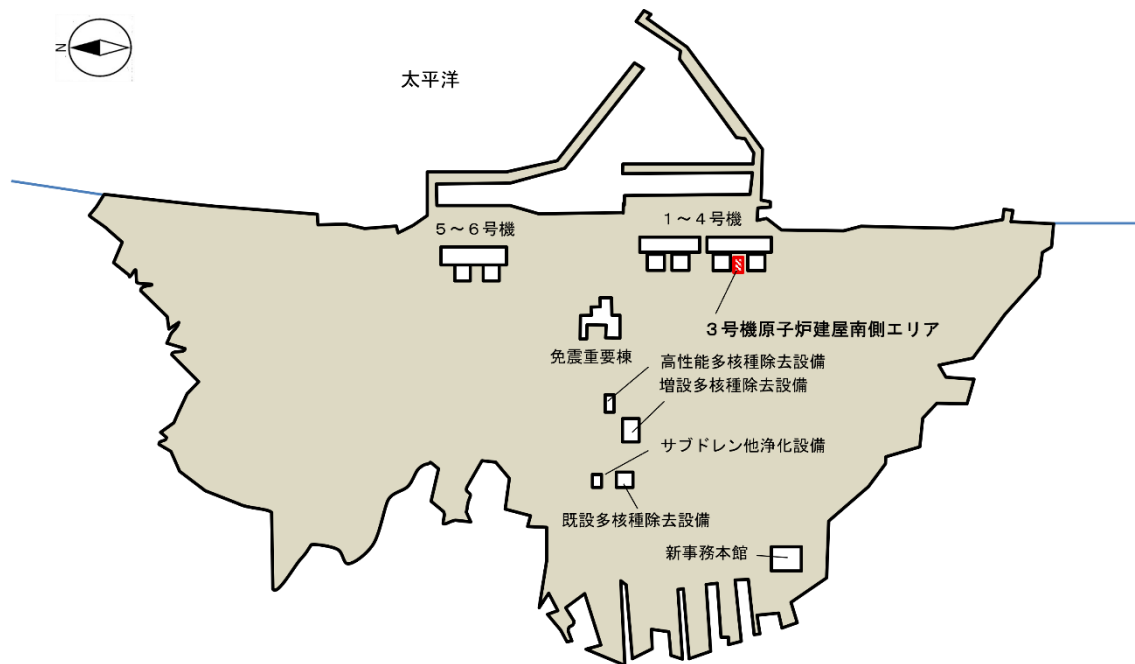
3 確認項目

変圧器撤去作業の状況

4 確認結果の概要

東京電力は、放射線量の低減及び雨水の地下浸透抑制のために、構内地表面をアスファルト等で覆うフェーシングを進めている。3号機原子炉建屋南側エリアにおいてもフェーシング工事が計画されており、工事に先立ち、当該エリアに設置されている変圧器の撤去作業が進められていることから、その状況を確認した。（前回確認：[令和8年4月10日](#)）

- ・主変圧器の上部が一部撤去されていた。また、大型バンドソー（帯鋸盤）を設置するための架台が設置されていた。（写真1）
- ・主変圧器から取り外した部品が主変圧器南側ヤードに仮置きされていた。配管の開口部には、絶縁油の漏えい防止のため、袋による養生が施されていた。（写真2）
- ・解体した主変圧器を吊り上げるためのクレーンが設置されていた。（写真3）
- ・主変圧器周辺は比較的高線量（0.1～0.5mSv/h程度）であるため、作業エリア内に付近の線量当量率を表示するとともに、可能な限り高線量エリアに近づかないように注意喚起するなど、被ばく低減対策が講じられていた。
- ・解体作業が実施されているエリアはYゾーンに設定されており、エリア境界には空気中の放射性物質濃度を監視するための連続ダストモニタが設置されていた。
- ・確認した範囲において、主変圧器からの絶縁油漏えい等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1) 主変圧器撤去の状況①
※令和8年4月10日撮影



(写真1-2) 主変圧器撤去の状況②
※令和8年6月26日撮影



(写真2)
主変圧器部品の仮置き状況



(写真3)
クレーンの設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。